

2025年度

一般選抜 前期日程

グローバルマネジメント学部

グローバルマネジメント学科

小論文

(80 分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開いてはいけません。
- 2 問題冊子は12ページあります。解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚あります。
- 3 試験開始の合図後、まず、問題冊子、解答用紙の落丁、乱丁、印刷不鮮明等がないか確認し、気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 試験開始後、受験番号、氏名を解答用紙の所定欄（解答用紙1枚につき、受験番号2箇所、氏名1箇所）に記入してください。
- 5 試験開始後は、原則として、試験が終了し退出許可が出るまで退出できません。
- 6 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入してください。
解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合、1マスに2文字ずつ入れてください（ただし、字数が奇数の場合は、末尾の1文字は1マスに入れてください）。
- 7 解答用紙は、持ち帰らないでください。
- 8 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ってください。

問題 I

都道府県（以下「県」という）の経済的な豊かさを示す指標として 1 人当たり県民所得※¹ や 1 人当たり県民雇用者報酬※² がある。2020 年度の結果は表 1 及び図 1 から図 4 の通りである。6 ページの問いに答えなさい。

※ 1：1 人当たり県民所得 県民所得は、県民雇用者報酬と企業所得等（企業所得と財産所得を合算した額）を合計したものであり、1 人当たり県民所得は、県民所得を県の総人口で割ったものである。

※ 2：1 人当たり県民雇用者報酬 県民雇用者数とは、県内に居住する雇用者の数を指し、1 人当たり県民雇用者報酬は、県民雇用者報酬を県民雇用者数で割ったものである。

表 1 全国平均と 47 県における 1 人当たり県民所得と 1 人当たり県民雇用者報酬

	全国平均	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
1 人当たり県民所得（万円）	312	268	263	267	280	258	284	283
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	475	500	384	393	447	392	414	430
	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県
1 人当たり県民所得（万円）	310	313	294	289	299	521	296	278
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	471	451	438	463	490	577	488	436
	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
1 人当たり県民所得（万円）	312	277	318	298	279	288	311	343
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	441	455	437	479	457	455	441	504
	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県
1 人当たり県民所得（万円）	295	310	275	283	289	250	275	231
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	448	443	445	484	510	451	411	359
	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
1 人当たり県民所得（万円）	277	267	297	296	301	277	247	249
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	388	450	485	428	429	456	416	394
	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
1 人当たり県民所得（万円）	263	258	248	250	260	229	241	217
1 人当たり県民雇用者報酬（万円）	476	390	441	406	430	399	383	375

図1 1人当たり県民所得と1人当たり県民雇用者報酬

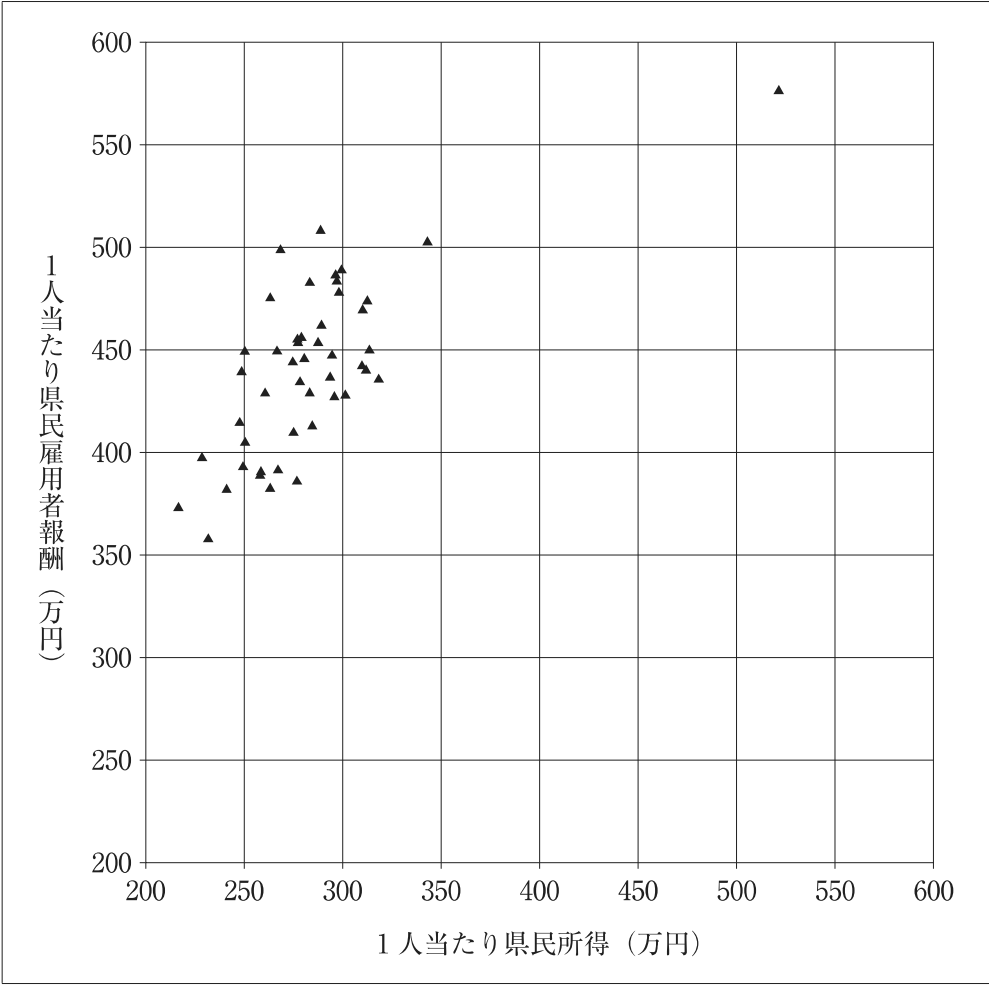


図2 県の総人口と県民雇用者数

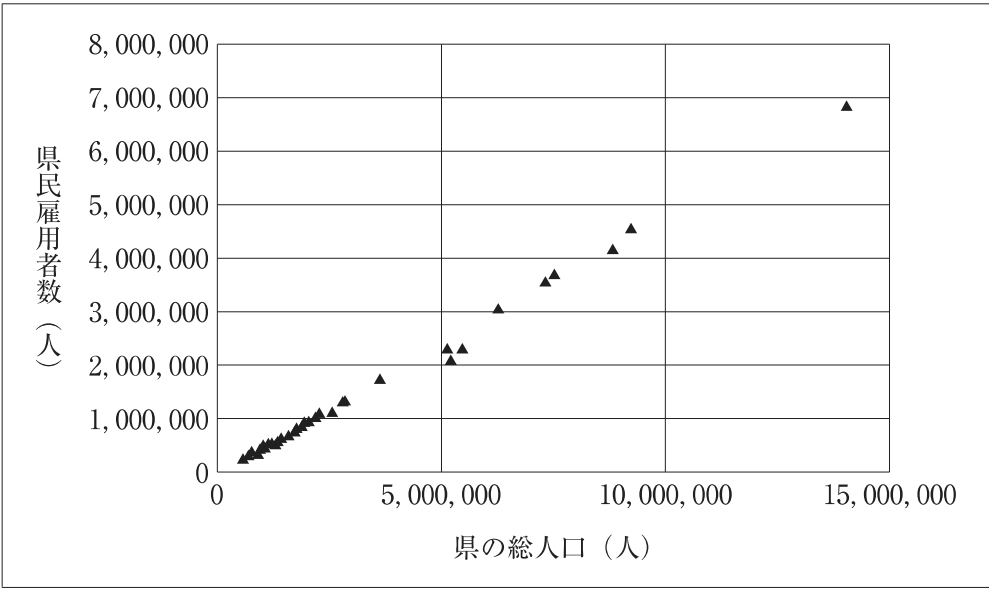


図3 1人当たり県民所得



図4 1人当たり県民雇用者報酬

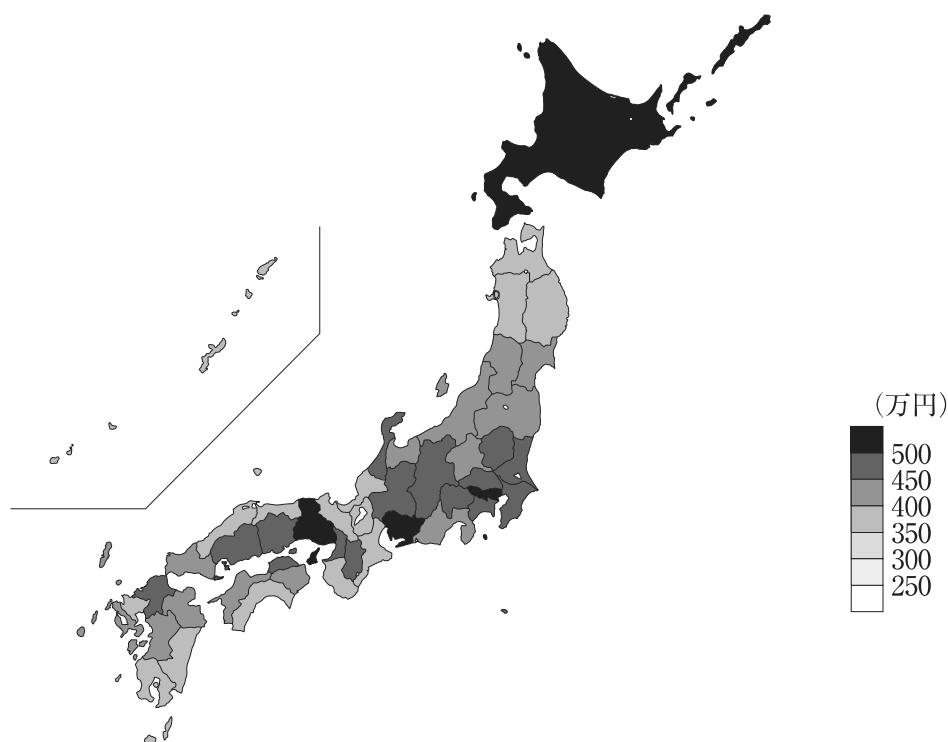


表1・図1・図2・図3・図4（出典）内閣府「県民経済計算」を基に作成

問1 1人当たり県民所得と1人当たり県民雇用者報酬の違いをそれぞれの定義を確認したうえで100字以上120字以内で記述しなさい。

問2 上記の資料から1人当たり県民所得と1人当たり県民雇用者報酬の関係についてどのようなことが読み取れるか、データも使って300字以上350字以内で記述しなさい。

問題Ⅱ

評価指標について書かれた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

評価指標と報奨に予想に反した形で応える人々の例は、そこかしこに見られる。19世紀、中国で仕事をしていた古生物学者は、そこで発見された先史時代の生物を研究するために恐竜の骨を集めたいと思っていた。完全な化石は稀だった。骨格やほかの遺物は何千万年にもわたる地質学的な力によってばらばらになっていたからだ。古生物学者はしばしば骨の破片や不完全な化石を扱わざるを得なかった。そこで古生物学者は地元の農民に助けを求め、農民が見つけた恐竜の骨の破片一つひとつに報奨金を出すことにした。農民はこの取引でどう振る舞うべきかたちまち理解した。報奨金は「破片」ごとに支払われるのだ。農民は、自分が発見した恐竜の骨をいくつかの「破片」にするために骨を砕き始めたのである。

シアーズでは1992年、設備の修理を引き受けてもらうために機械工に手数料を払うことにした。その結果、機械工は手数料を稼ぐために、やらなくてもよい修理を行うようになった。

オーストラリアでは、列車の運行に遅れが生じると列車の運行係は罰金を科せられた。そこで運行係は途中停車駅を全部飛ばすよう指示し始めた。ホームには、どうして列車が通過したのかといぶかる乗客が取り残された。

イギリスでは、ある救急外来で、患者が救急室に運び込まれてから医師の診察を受けるまでの時間を測り始めた。すると病院のスタッフは、医師の診察準備が整うまで救急車が患者を降ろすことを拒否し始めた。その結果、救急車は医師の準備ができるまで待たされるようになり、救急医療の貴重な資源が空費され、救急対応に充てられる時間が減ることになった。

1990年代、ニューヨーク州とペンシルベニア州は、病院および個々の外科医が担当する患者の死亡率を公表し始めた。医療における結果責任のシステムを導入しようとしたのだ。患者が、より優秀な病院や外科医を選べるようにすることで、医師や医療管理者が自らの治療を改善する動機が働くはずだと考えたのである。しかしその代わりに生じたのは、外科医が自分の成功率を上げるために、複雑な症状をもつ患者を避け始めたという反応だった。

インドを植民地化した際、イギリス人は首都デリーで、ある問題を抱えていた。コブラである。市内にはこの毒ヘビがうようよしており、植民地政府にとっても現地人にとっても危険な状況だった。ところで植民地政府には一つのアイディアがあった。ヘビに賞金をかけるのだ。死んだコブラを持ち込んだ者に賞金を与える。このプログラムは大成功したように思われた。大量のコブラが殺され、賞金が支払われた。しかし植民地政府はまもなく、なぜそれほど多くのコブラを捕まえて殺せるのか、その理由に気づいた。政府にコブラの死骸を売りつけるために、地元民はコブラの飼育を始めていたのだ！ インド人が仕組みを悪用していることを知って、イギリス人はコブラに対する賞金を廃止した。今やコブラは無価値となり、コブラを飼育していた者はそれを外に放した。その結果、デリーのコブラは桁違いに増

加した。市内のコブラを減らそうというイギリス人の努力は、状況を悪化させたただけだったのだ。

出典：ピーター・シュライバー(2022) 土屋隆裕監訳・佐藤聡訳『悪い統計学 データ分析の落とし穴』株式会社ニュートンプレス，89～91 頁より。

問 1 評価指標を達成しようとすることによってどのような問題が生じる可能性があるのか，事例も引用して 200 字以上 250 字以内で説明しなさい。

